

土砂災害対応訓練



異常気象による自然災害が多発していますが、5月28日午後に気象庁から新防災気象情報が発表され、警戒レベルが明記されるなど、住民の皆様に対して災害レベルによる早期避難を呼びかけやすくするなどの対応がとられるようになりました。

6月1日、九州南部の梅雨入りが発表され、先日は台風6号も接近したところです。最近では、全国的に線状降水帯の発生によるゲリラ豪雨なども多発しています。

東部消防署では、このような自然災害に対応すべく、土砂災害対応訓練を実施しました。訓練内容は、土砂崩れ発生により、人が土砂に埋没している現場を想定し、安全かつ迅速に救出する訓練や河川の増水による氾濫を想定した土のうを使用した水防工法です。

複雑多様化する災害に対応すべく、職員一丸となって今後も訓練に取り組んでいきます。

訓練の様子

